



発行：株式会社日本レジャーチャンネル
 〒108-0073 東京都港区三田3-12-12
 笹川記念会館9階
 電話 03-5443-2759
 ウェブサイト：http://www.jlc.ne.jp
 発行人：広瀬 秀貴
 協力：公益財団法人日本ゲートボール連合

内閣総理大臣杯 第34回全日本世代交流ゲートボール大会 新生・霧島クラブB(鹿児島)が初優勝!

内閣総理大臣杯 第34回全日本世代交流ゲートボール大会(主催：公益財団法人日本ゲートボール連合)が10月7日(土)～8日(日)に大分県大分市の大分市宮陸上競技場で開催された。今大会は、15歳未満・15歳以上65歳未満・65歳以上の3世代選手でチームを編成して競技する全国大会で、全国から48チーム・292名が出場。各世代の選手が連繋し、息の合ったプレーを披露した。

前回優勝のTKE(新潟)がリーグ戦で早くも姿を消す

シーズンを最後に飾る今大会には、前回優勝のTKE(新潟)、今年9月に行われた第33回全日本選手権大会優勝の萬燈組(愛知)、第72回国体男子第1位の岐阜県メンバールが中心の大垣心友会(岐阜)が出場し、他もスキを見せない好チームが出揃った。

コートは陸上競技場のインフィールドを使用した。天然芝は使い慣らされて随所に傾斜、窪みがあり、打球のコースが不安定でボールコントロールが難しい条件だった。

大会前日は土砂降りの雨だったが、大会期間中は幸い好天に恵まれ、初日の午後12時コートを有効利用して、4チームごとのリーグ戦が行われた。

リーグ戦を3勝0敗で勝ち進んだのは、前述の大垣心友会



ジュニア時代に全国大会ベスト8を経験している友和会Aの主将



大健闘! 霧島クラブBのジュニア選手



2日目はリーグ戦でコート1位となった12チームと、2位の成績上位8チームの計20チームでトーナメント戦が行われた。

目を見張る活躍を見せたのは、初出場組の藤の木クラブ(広島)が優勝候補を破る大金星

2日目はリーグ戦でコート1位となった12チームと、2位の成績上位8チームの計20チームでトーナメント戦が行われた。友和会A(島根)、ジュニア選手の技術力に定評がある青友

藤の木クラブは初出場ながら2回戦で優勝候補筆頭の萬燈組を下す大金星をあげ、続く3回戦で青友会Aに惜敗するも大健闘だった。友和会Aは同じく優勝候補の一角である大垣心友会を3回戦で破り、決勝に進んだ。青友会Aは、リーグ戦で第25回大会優勝(当時のチーム名はまくわ)の岐阜羽島を下し、堂々の1位通過で

と強い相手を破り、決勝に臨んだ。

決勝の1巡目、友和会Aの赤1番は第2ゲート右前から離れた甘い位置に進んだ。

霧島クラブBの白2番は第1ゲート右前脚に引っかけ、浅く通過した

ため、第3ゲート右前に進む。赤3番は赤1番へのタッチを外して第2ゲート右横に進む。白4番、赤5番が第1ゲート通過を見送ったあと、白6番は赤1番へのタッチを外して第2ゲート右前に止まる。赤7番が第3ライン中間地点近くに進んだあと、白8番の打



準優勝

霧島クラブBは、全国大会を何度も経験しているベテラン揃いだが、ジュニアの富吉美智選手(11)はスティックを握ってわずか4カ月というビギナー。「富吉選手に負担がからないうように、みんな助け合ってプレーしたことが勝因」とメンバーは今大会を振り返った。



また、準優勝の友和会Aは出雲市のチームで、30～40代の4人は1989年の第5回全日本選手権大会に「ピースボーイ」というジュニアチームで出場し、ベスト8となった伝説の選手たち。仕事の関係でしばらくプレーから離れていたが、初出場でききなり準優勝に輝いた。「いつもはコワくて選手にプレッシャーをかけがちな主将が今回はジュニア選手がプレーしやすいように優しく指示を出してくれたのが良かったかな(笑)」

優勝 霧島クラブB(鹿児島)

準優勝 友和会A(島根)

第3位 久慈K.O.S(岩手)

第3位 青友会A(福岡)

順を迎える。

決勝は1巡目の白8番のプレーが勝負の分かれ道となる

通常、白8番は第1ゲート通過を見送る場面であるが、ここがヤマ場と見て第1ゲートを通過し、赤1番、赤3番と次々にタッチして第2ゲート前の拠点を奪った。その後

順を迎える。

決勝は1巡目の白8番のプレーが勝負の分かれ道となる

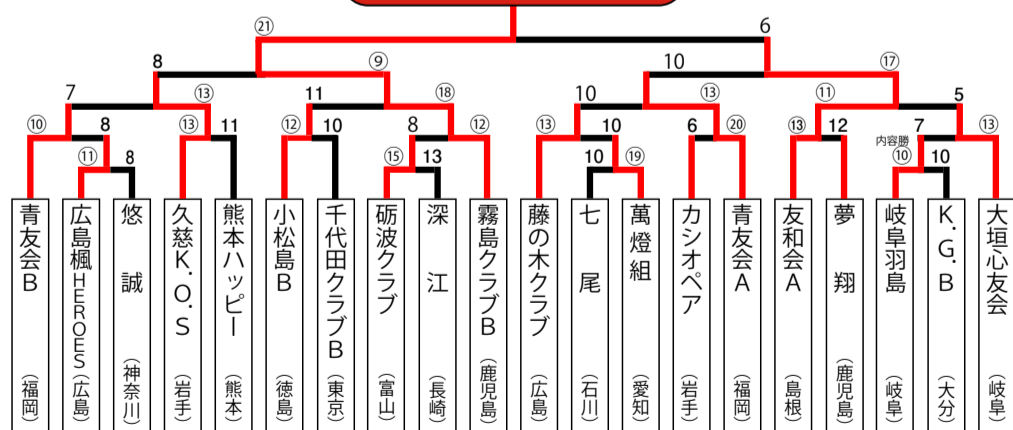
通常、白8番は第1ゲート通過を見送る場面であるが、ここがヤマ場と見て第1ゲートを通過し、赤1番、赤3番と次々にタッチして第2ゲート前の拠点を奪った。その後



大人顔負けの技術力を誇る青友会Aのジュニア選手



優勝 霧島クラブB



コート	スコア	コート	スコア	コート	スコア	コート	スコア
1コート	0-3	4コート	2-1	7コート	0-3	10コート	0-3
○K.G.B(大分)	2-1	○亀丸(京都)	3-0	古崎クラブ(福井)	2-1	プロッサム(福岡)	2-1
○ドラマシティ札幌(北海道)	1-2	○藤の木クラブ(広島)	3-0	小松島S(徳島)	2-1	松阪クラブ(三重)	2-1
○大垣心友会(岐阜)	3-0	○もりおか木曜クラブ(岩手)	1-2	○青友会A(福岡)	2-1	○広島楓HEROES(広島)	2-1
○広島楓(広島)	0-3	○深江(長崎)	2-1	○岐阜羽島(岐阜)	2-1	○小松島B(徳島)	2-1
2コート	0-3	5コート	2-1	8コート	2-1	11コート	2-1
○水戸市立第三中学校(茨城)	0-3	○萬燈組(愛知)	2-1	○熊本ハッピー(熊本)	0-3	○アルプス八田(山梨)	2-1
○友和会A(島根)	2-1	○たんぽぽ(富山)	0-3	○美浜煙樹(和歌山)	2-1	○ゆふいん(大分)	1-2
○友小松島クラブ(徳島)	3-0	○青友会B(福岡)	3-0	○坂下(島根)	1-2	○KURE(広島)	1-2
○七尾(石川)	2-1	○黒媛(岡山)	1-2	○TKE(新潟)	1-2	○カシオペア(岩手)	2-1
3コート	1-2	6コート	2-1	9コート	1-2	12コート	1-2
○N.O.T(新潟)	1-2	○夢翔(鹿児島)	2-1	○友和会B(島根)	1-2	○千代田クラブB(東京)	2-1
○霧島クラブB(鹿児島)	3-0	○京都精華(京都)	1-2	○霧島クラブA(鹿児島)	1-2	○富士スノーファルコン(静岡)	2-1
○新居(三重)	0-3	○青森(青森)	2-1	○九十九里(千葉)	1-2	○砺波クラブ(富山)	2-1
○悠誠(神奈川)	2-1	○千代田クラブA(東京)	1-2	○久慈K.O.S(岩手)	3-0	○一番星(大分)	0-3

◎印のチームがトーナメント戦に進出

大会結果

「2017日本の蔵王day
三遊亭円楽杯」
ゲートボール交流大会



三遊亭円楽さん率いる円楽チームを招き、蔵王町と蔵王町教育委員会の主催、宮城県ゲートボール連盟の共催により毎年開催されている標記大会が10月12日(木)～13日(金)、宮城県蔵王町総合運動公園「楽天イーグルス蔵王球場」で開催された。



8試合の総合成績により順位を決定する予定だったが、大会2日目は天候に恵まれず、スケジュールを一部変更して行った結果、上位チームは後述の通りとなった。

10月14日(土)～15日(日)、岡山県岡山市の岡山ドームで標記大会が開催された。

第1位 ガラクターズ(新潟)
第2位 桜クラブ(福島)
第3位 どたばた(宮城)
第4位 ドリームスターズ(宮城)
第5位 オの羽々(岩手)

第32回中国地区ゲートボール選手権大会
10月14日(土)～15日(日)、岡山県岡山市の岡山ドームで標記大会が開催された。

第6回全国高等学校ゲートボール選手権大会
同一校に所属する高校生チームを対象とした、公益財団法人日本ゲートボール連合主催の全国大会。

観戦に行こう!
競技は、高校生プレイヤーが主役ということで、少人数制でスピード感あふれるゲームが楽しめる「リレーションー3(トリプルス)」で行われます。

第22回JLC杯スーパーゲートボール大会
本紙と番組「スーパーゲートボール」を制作・放送している株式会社日本レジャーチャンネル主催のオープン大会を開催します。

松元さん一家による家族3世代チーム
写真右から、祖父の松元一就選手(68)、父の一樹選手(40)、兄の風樹選手(13)、祖母の町子選手(65)、弟の颯矢選手(11)、母の美穂選手(41)の6人によるファミリーチーム。

ゲートボール歴20年の一就選手の影響で、一家がプレーをはじめたのは7、8年前。以来、家族で地域のコートで練習したり、大会に参加するなどして腕を磨いています。

レジャーチャンネルオンデマンド
ゲートボール見るならレジャーチャンネル
アーカイブ番組も充実 見逃し再生 専用アプリ視聴
レジャーチャンネル全8ch インターネット配信START!
スカパー!レジャーチャンネル加入者は追加料金不要!

第22回JLC杯スーパーゲートボール大会 参加チーム募集
本紙と番組「スーパーゲートボール」を制作・放送している株式会社日本レジャーチャンネル主催のオープン大会を開催します。例年通り、三遊亭円楽さんをお迎えし、前夜祭として大会前日9日(金)夕方からは、円楽さんと芸人の皆さんによる「JLC寄席」も楽しめる大会となっているので、ぜひご参加ください!

『スーパーゲートボール』12月の番組表

日	土曜日	日曜日
2日	第72回国民体育大会ゲートボール競技会 女子決勝 埼玉県 vs 青森県 コーナー：現代ゲートボール概論「高ちゃんゼミ」 (2017年全国ジュニア大会2部クラスの作戦分析) (再放送) 11月18日と同内容	第72回国民体育大会ゲートボール競技会 男子決勝 岐阜県 vs 島根県 コーナー：次の行って (埼玉県 相馬主将・東京都 瀬戸主将・東京都 真鍋選手) (再放送) 11月19日と同内容
9日	第33回全日本ゲートボール選手権大会 2次リーグ戦 ザ・小樽(北海道) vs 那覇市那覇(沖縄) コーナー：開会式ダイジェスト&内山さんに聞く	第33回全日本ゲートボール選手権大会 トーナメント1回戦 小豆島豊栄(香川) vs 梅津(京都) コーナー：次の行って(ザ・小樽 五十嵐主将・広島楓 飯田主将・小豆島豊栄 三木主将)
16日	(再放送) 12月9日(土)と同内容	(再放送) 12月10日(日)と同内容
23日	第33回全日本ゲートボール選手権大会 準決勝 北建ジーンズ(福岡) vs SY(新潟) コーナー：次の行って (東京ニコニコクラブ 阿部主将・十和田西 東主将・北斗クラブ 大場主将)	第33回全日本ゲートボール選手権大会 決勝 萬燈組(愛知) vs 北建ジーンズ(福岡) コーナー：突撃インタビュー (ゲートボール生誕70年、これからのゲートボールに望むこと)
30日	(再放送) 12月23日(土)と同内容	(再放送) 12月24日(日)と同内容

投稿募集中!
「ゲートボールに関する話題」や「本紙と番組に対する意見や要望」など、読者の皆様からの投稿を募集しています。

JLCレジャーチャンネルで放映している『スーパーゲートボール』は、全国大会を中心に、現在まで約1600試合を放映しています。1試合をノーカットで解説とともに振り返り、チームインタビューなども収録。